

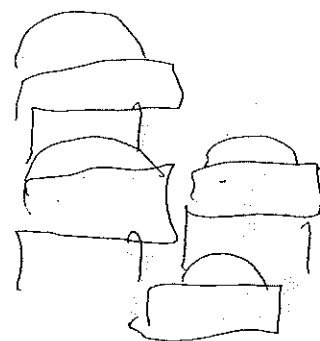
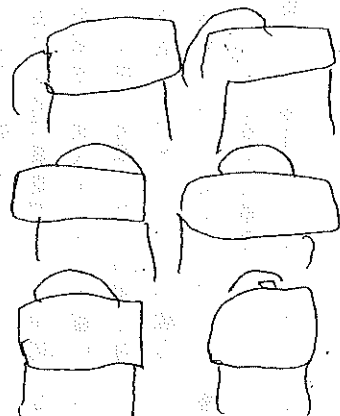
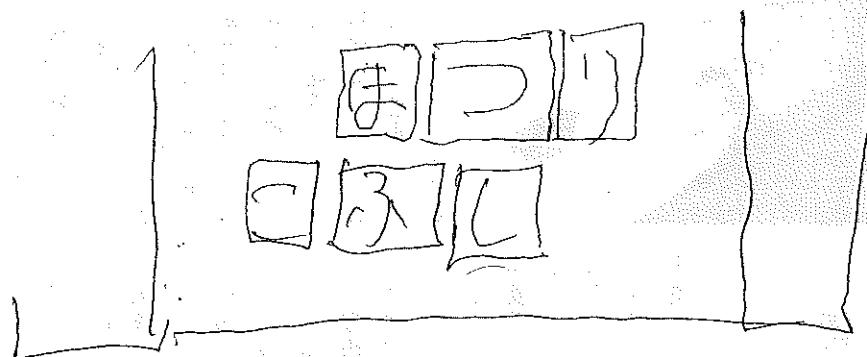
働こう障害者も 働けるんだオレ達も

こぶしだより

2000年5月2日発行

発行責任者：藤田勝春

編集責任者：住谷佳裕



こぶしまつり会場 (こぶし高島正彦)

今月の紙面

- 特集 (1ページ)
*話しあって仕事をしよう
- *新?パン屋さん宣言
- くりし (2ページ)
*グループホームの食生活
*シリーズ生活施設
- なかま (3ページ・4ページ)
*花見に行ったぞ〜!
*なかまの声
*花見より団子?
●保護者・こよみ (5ページ)
*けやき菊地さん
●考える (6ページ)
*人間生活の中で明日の喜びが大切な活動の目的となる
- *社会福祉関連法案の改正の動きその1

話しあって仕事をしよう

くベアリング班の取り組みく

「今日はベアリング二千個いったね。よかつたよ。明日も二千個いくかな?」「今日は・・君頑張つてやつてたよ、皆に話さなきゃ・・。」こういう場面が、ベアリング班の仲間の話し合いで見られます。

こぶしのベアリング班は、就労を目指せる仲間から、障害の重い仲間まで幅広く構成されています。仲間にとつても職員にとつても、ただベアリングを作るだけならば楽なのです。



しかし、「皆で協力しあう班づくり」を中心にするのならば、朝や帰りの話し合いは不可欠ではないか、と考え班長・副班長を中心に話し合いに取り組んでいます。

班長・副班長の役割は重要であり、仲間一人一人の声を聞き、要求を引き出す難しさがあります。実際、言葉のない仲間に対して班長もどう話しかけたらよいのか解らなくなる場面も見られています。ですが、一生懸命に一人一人の考えを聞き出そうとする班長の姿勢には、職員側も励みになり、学ぶことも多いのです。

話し合いの成果でしょうか。いつもは作業量の少ない仲間新しい役割として、完成したベアリングを運ぶ作業を行ってもらおうとすると、職員が声をかける前に仲間の声で自発的に行っていました。その時の仲間たちの顔はとても嬉しそうでした。

(こぶし 東岡)

新?パン屋さん宣言

く自立に向かつてく

新年度になり、パン班の体制が新しく変わりました。今まで、二人だった職員体制が

3人体制となり、仲間は石けん班から一名、下請け班から一名加わり計七名でのスタートとなりました。

現在は、去年から継続して作業をしている仲間は新人の仲間に作業工程を教えながら、日々切磋琢磨しています。

今年度は、仲間たちの高賃金を保障していくためにも、大口注文先の確保に努め、最終的には企業への一般就労を目指していきます。そのために、パン班独自のルールなども、仲間、職員共に話し合って決めました。

時々、仲間同志の気持ちのすれ違いや、行き違いからトラブルも起きたりしていますが、そのような様々な問題も仲間たち自身の力で解決していき、お互いに納得できるような力を養えるように援助していきたいと思います。

また、新製品のパンの開発にも力を入れ、みなさんに愛される様なおいしいパンを目指しています。

是非、新しくなった「にこにこパン屋」さんのパンを御賞味下さい。また、注文もどんどんお待ち申し上げますのでよろしくお願ひします。

(けやき 直井)

グループホームの食生活

「すずらんの家編」

「食は文化なり」と言う言葉があります。食は人間が生活する上で最も重要な行為・行動の一つと言われていますが、なかなかないがしろにされているのが実状ではないでしょうか。今回はすずらんの家の現状を報告しながらこれから目指すべき方向を示していきたいと思います。

まずはある日のすずらんの家を食の面から覗いてみましょう。

ヘイコーバック(株)に仲間を迎えに行つたときに缶コーヒーやジュースを買い、ホームに戻ると早速買っておいたお菓子(仲間が自分の小遣いで買ったものがほとんど)やけやきのパンを飲んだり食べたりする。夕食作りをしない仲間は夕食までインスタントコーヒーを飲んだり、(必ず砂糖一本3g入れる。)ジュースを飲んだりしている。買い出しは二三日に一回近くのスーパーで野菜中心に仲間と一緒に買う。今年一月から生協の共同購入を始めたので、肉・魚はほとんど買わず。夕食の献立はその日ある食材から考えて作るが、世話人のレバー

トリのなさと仲間が作りやすいものを作る人が多いので、メニューは偏りがち。片づけが終わるとまたお菓子を食べたり、

飲んだり…が寝るときまで続くときも。お酒は苦手な人がいるのでほとんど飲まず。このように見ていくと、なかなか仲間がやめられず常に何かを口にしていることがわかると思います。他にやりたいことが見つからないと食べ物にしか興味を持たなくなることですが、テレビを見ること以外にやることになければやはり食べてしまおうと思うのです。生活習慣病を抱えている仲間がいる中でどのように食の指導をすべきか私なりに考えてみると、以下のことができればと思います。

- ① 仲間が自分で食べる量をコントロールできるようにすること。
 - ② 夕食の献立をしっかりと立てること。
 - ③ 食べられる分だけ作ること。
 - ④ 仲間が作りやすいように援助すること。
- 難しい問題ではありますが、仲間の健康を守るためにも取り組んでいきたいと思えます。

(けやき 切無沢)

シリーズ生活施設

其の壹

なかもまたちの人間としてあたりまえの願い「わたしも働きたい!」「無用の存在ではなく、有用の存在であると思われたい」「楽しく生きたい!」というこの願いは「人間らしく生きたい!」ということであり、すべての人々の思いです。そんな思いの中で、こぶしの会をつくってきた人たちがまた結集し、今こぶしにかかわっている人たちも加わり、夢を語り、意見を出し合い生活施設建設委員会を発足させました。

当面は、組織を確立し、活動内容をあきらかにしつつ、賛同する人を多くつものって、みんなといっしょに準備をすすめていきたいと思います。

いっしょにやっていただけませんか、いっしょにやりませんか…。

〈連絡先〉生活施設建設委員会事務局

こぶし作業所 028・662・1911 (鈴木)

けやき作業所 028・687・1040 (成田)

(けやき 成田)

花見に行つたぞー！

「こぶし編」

3月末に改選された、平成一二年度自治会新役員の初仕事となったこぶしの花見は四月二三日、爽やかに澄みきつた青空の下、「益子陶芸の森」に出かけてきました。

こぶしのなかで花見は自治会の取り組む行事として位置づけられて、場所の選択や企画も仲間たち自らの話し合いのなかで決められています。

そして、今年の話し合いでも「広い場所で遊びたい」「野球とかサッカーをやりたい」「ハイキングができるところ」「のんびりとした」「遊園地も楽しそう」等々の希望がでてきました。こうやって希望を聞いてみると、一般的(?)な桜の木の下での宴会的な花見のイメージは現実的なものではなく、テレビニュースの中でのものようでした。過去には宴会のような花見も体験しましたが、そんな時に自然発生的に始まった、レクリエーション的な企画が仲間の中には定着してきたようです。また、それは毎日一緒に働いている仲間集団と思いい切り体を動かして遊びたい要求の現れであったのかも思えました。

ともあれ、晴天の一日広い芝生を独占して、自分たちの希望通り、野球あり、サッカーあり、ハイキングあり、のんびりムードありと楽しい一日を過ごしてきました。

(こぶし 荒井)



ながまの声

ぼくは、パン班でパンをやって、さいしょは、作り方が、むずかしかったです。すこし、作り方をおぼえたら、楽しくなりました。これからも、がんばりたいです。

(げやき 野沢君)

ある日のコーヒーチケット販売のようす
朝・・・

木村さん「皆に(チケットやコーヒーを)

配ったりするのが楽しい」

亀田さん「僕もやつてる。月・水・金だ

よ」

木村さん「コーヒーおいしいです」

職員「一杯いくらですか?」

木村さん・亀田さん「・・・?」

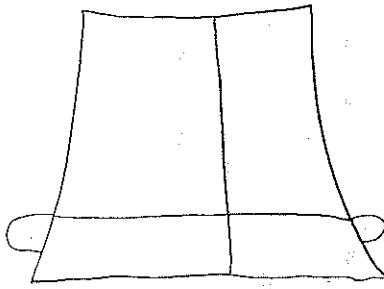
亀田さん「木村さんお金の計算出来るじゃ

ん」

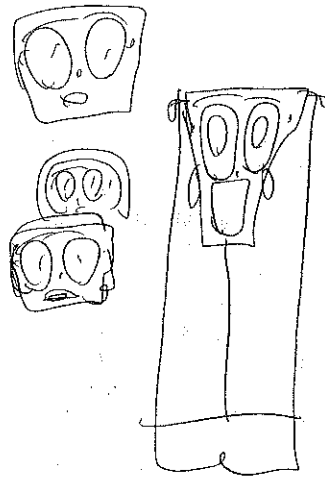
木村さん「皆に飲んでほしいです」

そしてチケット販売の瞬間・・・

木村さん「いち・に・さん・よん・四



斉藤宗一



黒子裕信

百円だ」
 亀田さん「今日は売れてない」
 木村さん「先週は売っていたのに」
 亀田さん「売れないなあ・・・」
 皆さん、ぜひおいしいコーヒーを！

花見より団子？

「けやきデイスサービス編」

今年度のデイスサービスの活動として毎月1回は外出日を設けることになり、4月の外出は4月14日(金)に根本山(真岡市)まで花見に行こうと皆で話し合って決めました。花見の雰囲気を作るために桜の花の絵を皆で描いたり、朝礼や活動中に花見のことを話しました。

花見に行った当日は、朝から晴れて絶好の花見日和では作業をしている仲間から羨望のまなざしと声があがる中、けやき作業所を出発し根本山に向かいました。根本山の山道を上る時から道の両側は桜が満開でいい花見になると思えました。会場に着くとすぐに芝生にシートを広げのんびりと桜の花でもみようかと思いきや皆にとつては「花より団子」でお菓子の袋を開けて食べたりジュースを飲み始めました。その中で佐藤イチさんは偶然知人に会い、そのグループに混じり楽しそうに話していました。厨房で作ってくれたおにぎりを食べて満足するとのんびりと過ごすと思いましたが、

根本山は桜の名所で有名なため露店がたくさんあり仲間にとっては目の毒で、周りにも花見客がたくさんで落ち着けないため、場所を前日こぶし作業所が花見に行った「益子の森」に移りました。そこは広い芝生に花見客は少なく皆芝生にのんびりと座ったりゴロゴロと寝そべっていました。阿久津君はアスレチックを一周して汗をかきました。斉藤君は自分の落ち着く所を見つけたら、広い芝生を走り回る仲間もいました。来年はここに来ようと思いつながら「益子の森」を後にしてけやき作業所への帰路につきました。



(けやき 田島)

おむすび

(御家族のお話のコーナーです。お母さんを思い浮かべ、おむすびと題しました)

息子の障害を確信したのは、一八ヶ月のときです。歩行が始まりほっと一息ついたら、言葉が出ない、呼んでも振り返らない、次々に不安がよぎりました。病院通いが始まり「自閉的傾向児」と診断を受けました。幼児期は、常に自分の欲求のままに動き、通らないとひっくり返る、次々とパニックが重なり途方に暮れる毎日でした。幼稚園は、私と二人東京で二年間過ごし、小学校は三年生頃から、先生方、友達にささえられ人との関わりが楽しめるようになり、パニックも減って我慢する力もついてきて毎日楽しそうに通う姿を見るたび日々の成長を実感できました。高等部では、息子がバスに乗るのを見るのが、私の一日の始まりでした。問題もなく卒業でき、茂木の作業所にバス通所、大きな問題もなく過ごしてきました。現在は、対人関係、環境の変化に敏感、感情を抑えることが難しく、問題も多くあります。仕事を休むことが嫌

いで、版で押したように時間で家を出て帰ってきて、お風呂に入り食事をして寝る。そして、土曜買物、日曜は一日中家の中、その繰り返しです。自立はいろいろな面から無理です。集中して打ち込める何か生きがいを見つけてやりたいと思っています。これから先、家族がいつもニコニコ笑顔で、息子が安定して過ごせるよう見守っていきたいと思います。

(保護者 菊地ユキ)



こよみ

5月

こぶし

- 1 (月) メーカー参加・仲間自治会
- 3 (火) 休所
- 13 (土) 職員会議
- 20 (土) 指導会議
- 27 (土) ゆうあいピック

けやき

- 3 (火) 休所
- 3・4 (水・木) 陶器市
- 13 (土) ケース検討会議
- 20 (土) 職員会議
- 27 (土) ゆうあいピック

(*5月中に健康診断の予定です)



こもれば

人間生活の中で明日の喜びが活動の大切な目的になる

⑤ 考える

こぶしの生活の中で大事なことの一つに仲間たちみんなが希望を持った生活を創り上げることがある。今日とは違った明日がありさらにその向こうにも楽しい生活があるのだという希望がもてるのが、作業所の生活を生き生きとしたものに、また活動が希望に満ちた明るいものに、変えていくことが可能になる。自分の活動を近い将来のものに限定してしまわないで、より遠い見通しを持つことも大切なことだろう。私の子供の頃は、今と違って1年の楽しみ・行事が少なかったもので、お正月がこの中で最大の楽しみであり学校が休みになって、雪が降ったりして、凧揚げや独楽回しなど遊びだらけの毎日だった。幸い、親も勉強しろなど口やかましく云わなかったのである。障害もなく遊びに専念したものである。そして、その楽しい正月が終わってしまうと寂しい空虚な感じが続き、次の正月の来るのを一日千秋の思いで待ったものである。

そして待つことを知り、楽しい未来があることを期待して一年後送ったものだ。今年を取ってからは1年の過ぎ去るのが非常に早い。子供の頃の半分いや一ヶ月ぐらいにも感じてしまうものだ。明日に期待することは、人間の成長にとって良好な栄養になつていのではないかと思う。

こぶしの活動のなかでも、単調な日課を機械的にこなしていくのではなく、みんなが何かを期待し遠い見通しを、その人なりに持つて毎日を楽しく生きることが、現実の生活を豊かにし、人間的な成長をもたらすものではないだろうか。期待や希望に思いを膨らませて、可能な限りその現実に向かうように生活内容を創り出していく工夫が必要と思われるのである。

(こぶし 住谷)

どあ

※大分気になるこんな動き、こんなことば
社会福祉関連法案の改正の動き

その①
社会福祉事業法等の一部を改正する等の

法律案が国会に上程され、四月十四日から衆議院本会議で審議が始まり、五月上旬にも採決される予定になっています(本誌が皆さんのお手元に届く頃には、結論が出ているかもしれません)。

この「改正」は、八本の法律が対象になつており、障害者福祉に関しても、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、社会福祉事業法等の改正により、大きな影響を受けるものです。他の多くの法律改正ラッシュのなかでテレビや新聞で報道されることも少なく、『いつのまに、こんな改正が!』ということになりかねません。

改正は、すでに老人福祉分野で見切りスライストした介護保険への横ならびなどをねらいとするものです。平成一五年四月一日からの実施が予定されていますが、手本とされる介護保険の動きに関心を寄せ、改善していかなければなりません。同時に国民の同意が無いままに開始され、混乱の極みにある介護保険と同じ誤りをおかさないためにも、まずは国会での十分な審議を求める必要があります。

くつづく
(こぶし 田澤)

掲示板

住谷所長

藍綬褒章受章

おめでとう

ございます！

*全障研「みんなのねがい」セミナー
自閉症児・者の内面世界をさぐる

日時 2000年6月4日(日)

13時受付

13時30分開始

会場 宇都宮市文化会館第1会議室

連絡先 こぶし作業所内

担当鈴木

*益子町陶器市(5月3、4日)に参加しました。(けやき作業所)

*ゆうあいピック開催

日時 5月27日(土)

(小雨決行、決行不可能の場合)

合は順延 5月28日(日)

会場 栃木県総合運動公園陸上競

技場

応援をお願いします！

文の所へ
ご下作業へ



ふふふ石けん
好評発売中！

粉石けん
1.2kg箱入
¥270
1.2kg袋入
¥240
固形石けん
2個入
¥100
ご注文はいつでもOK!

にこにこパン屋さん

地粉の食パン・ブルーベリーパン
その他新製品ができました。注文販売も
承りますので宜しくお願いします。

共作連賛助会員・こぶし

けやき後援会会員拡大に

御協力下さい！

お気軽に
お問い合わせ
下さい!!

社会福祉法人
こぶしの会
法人事務局
こぶし作業所

☎ 321-0902
栃木県宇都宮市
柳田町1401
TEL 028(662)1911
FAX 028(662)1912

けやき作業所
デイ・サービス
センター
共作連とちぎ
事務局

☎ 321-3304
栃木県芳賀郡芳賀町
祖母井 2244
TEL 028(687)1040
FAX 028(677)5789

こもれび

「人間らしい生き方を求めて」

猿を人間たらしめた要因に労働は大きな位置をしめるという。考古学的にも人間の進化過程、特に頭蓋骨の大きさと労働の象徴である道具の発達は正比例しているという。道具の一つ一つはまさにその時代の文化そのものである。道具の最高の形態は言語である。人間の集団労働の必須の道具である。

グーテンベルクの印刷術は文化の飛躍的発展をつくり出した。そして現在のインターネットに代表されるコンピュータ文化は瞬時に同レベルの情報を地球上に保障する。最大多数の幸福を保障する可能性をイメージしたくなる。

さて、「前置きが長かった(短いか?)が、人間を人間たらしめる道具、その最先端をいく言葉は、今、人間らしい生き方に貢献しているだろうか」というのが今回のテーマでありこぶしの会の理念のキーワードを、こぶしの会の現状に照らして考えてみたい。そして、この見直し作業は今年度のこぶしの会のテーマである。

例えば「仲間」・障害のある人達は私達の

「仲間」になっっているだろうか。内実はともあれ、情緒的な「仲間」と呼ぶことが彼等の人生に貢献しているのだろうか。例えば「労働保障」。最低賃金はクリアーしているだろうか。職業選択の自由は!。団結権を保障し、労使間是对等平等であるのか。

例えば「豊かな生活」・・・はじめて聞いたこれらのキーワードは新鮮だった。私達の真の意味で「めざすもの」だった。そして長く働いたり、一緒に生活する中で、キーワードを多用し、いつのまにか目指しているつもりになっっていないだろうか。

補助金もない共同作業所を一月八日に開所し二五年。この四半世紀の蓄積にふさわしい実践で私達の目指すものをもっと具体的な言葉で表し、自らの実践を見直したい。

(けやき 高橋)

ど あ

※大分気になるこんな動き、こんなことば
社会福祉関連法案の改正の動き

その②

前回、書きましたように、社会福祉事業法等の「改正」案が、五月十日の衆議院厚生委員会会で可決され、現在参議院で審議中です。

今回の法律改正の特徴は、「理念」を明確に打ち出したこと、と言われています。つまり、どういふことをめざして、どんな考え方で今後の日本の社会福祉を進めていくのか、を明確にしたものです。

この「改革」のキーワードは、①利用者主体(利用者が自らの意志で利用したいサービスを選ぶことができる自己決定権とそのための権利擁護を実現する改革)②地方分権(市町村を基盤とした地域自立生活支援を実現する改革)、さらに③契約(行政がサービスを決定するのではなく、利用者の自己決定権に基づくサービス提供者との自由な契約)④市場原理(質の良いサービスを安い価格で提供できる事業者が生き残る)⑤情報提供(利用者の選択を可能にさせる必要が情報の提供)⑥福祉専門職の質の向上です。

これらの改革の柱に、あなたはどのような考えをもたれるでしょうか。「ああ、やっと日本の福祉もここまでできたのか」「なぜ、こんな当たり前のことがいままさら」「自己決定して、自己責任を問われることではないの」「地方分権って、サービスに格差が生まれても当たり前前ってこと」などなど、いろいろな感想が出てきそうです。今回は、その中味を考えたいと思います。

(こぶし 田澤)

掲示板

6月

*健康診断

5月24～6月13日

(けやき)

*6月4日(日)

全障研総会(午前)

みんなのねがいセミナー

講座(宇都宮市文化会館)

(午後)

のん美里バザー(午前)

皆さんのご来店を

お待ちしております!

*6月10・11日

共作連全国大会(和歌山)

文の所
は下
作
業
へ



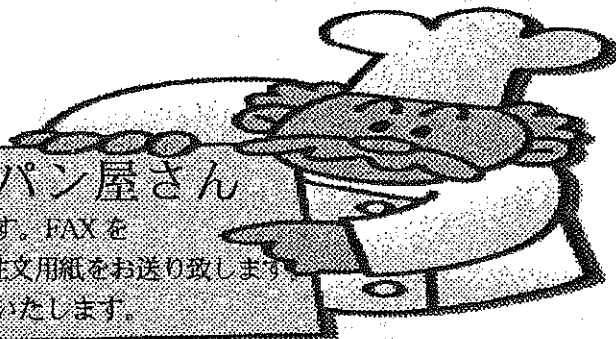
粉石けん
1.2kg箱入
¥270
1.2kg袋入
¥240
固形石けん
2個入
¥100
ご注文いつ
でもOK!

好評発売中!

ふふ石けん

にここパン屋さん

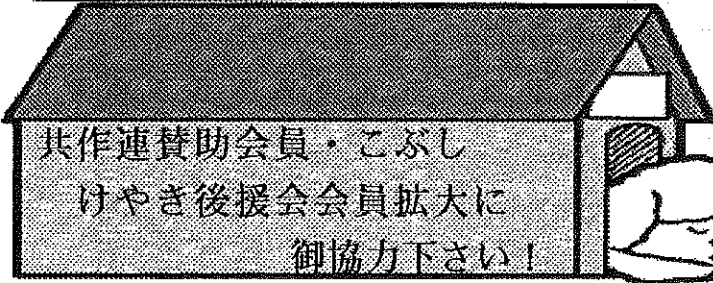
電話注文承ります。FAXを
お持ちの方には注文用紙をお送り致します。
よろしくお願いいたします。



共作連賛助会員・こぶし

けやき後援会会員拡大に

御協力下さい!



お気軽に
お問い合わせ
下さい!!

社会福祉法人
こぶしの会
法人事務局
こぶし作業所

☎ 321-0902
栃木県宇都宮市
柳田町1401
TEL 028(662)1911
FAX 028(662)1912

けやき作業所
デイ・サービス
センター
共作連とちぎ
事務局

☎ 321-3304
栃木県芳賀郡芳賀町
祖母井 2244
TEL 028(687)1040
FAX 028(677)5789